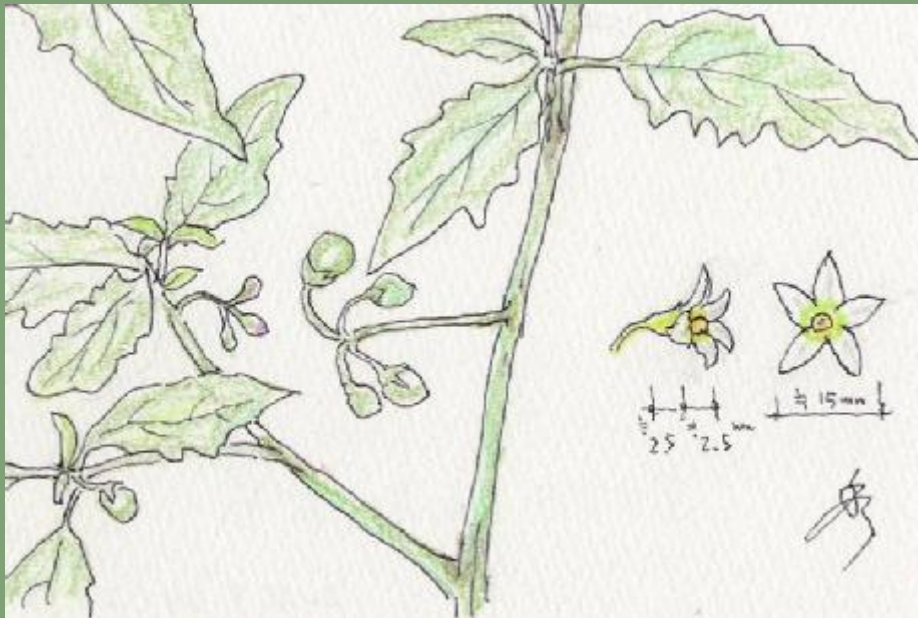


見沼田んぼ・野草スケッチ「アメリカイヌホウズキ」 犬酸漿

科名：ナス科 属名：ナス属

別名：バカナス



2011. 9. 29

この野草は、街なかや畑でもよく見かけ、他の草の中から掻き分け身を高くし蔓延っています。アメリカホウズキといい、花が、白や紫色で7月ごろからあちこちで目立ち始めます。花が可愛い。イヌホオズキ (*Solanum nigrum*)、アメリカイヌホオズキ (*S. ptychanthum*)、テリミノイヌホオズキ (*S. americanum*)の3種あるという。



## 「アメリカイヌホウズキ」

原産地：	北アメリカ
生育地：	路端、畑など
茎 丈：	草丈 40～60cmの一年草
葉：	葉は互生し、長さ6～10cmの卵形 縁は全縁か波形の鋸歯があり
花期：	8月～10月
花・花色：	直径5～8mmの花を2～4個散形に咲かせ星形  白から淡い紫色 黄色の大きな葯をつけた5本の雄しべ
種子：果実	直径5～8mmの球形の液果 緑色から熟して黒くなる
特徴：	果実は一般的には有毒（この属には毒性を持つものが多い）
名前の由来：	食用にはならない事から、犬(要ぬ)酸漿と呼ばれ、アメリカ原産のためアメリカイヌホオズキ(亜米利加犬酸漿)と呼ばれる。
記述は、幾つかのサイトを参考にさせていただきました。 17.9.5	